

共同助成(兵庫県遊技業協同組合)

「依存症者およびその家族への支援の継続と障がいを持つ依存症者の就労支援」事業

依存に苦しむ当事者や家族への継続的支援で回復や社会復帰への道を開くために尽力

薬物依存やアルコール依存に苦しむ人々の回復支援を行ってきた神戸市にある民間リハビリテーション施設では、最近増えつつあるといわれているギャンブル依存の問題にも取り組み始めた。コロナ禍で相談機関が停止するなかでも地道に活動を続け、再開した家族会には悩みを抱えた多くの依存症者の家族や関係者が多数参加した。



依存症を抱えた家族や友人、恋人などに対する相談会の開催を告知するチラシ



回復が進んだ依存症者に対して就労の場を提供するため実施した沖縄タコスの出張販売を告知するチラシ

当事者に加え、家族や関係者からの相談支援、家族支援にも力を入れる

「神戸ダルクヴィレッジ」は、2016年に神戸市において設立された依存症民間リハビリテーション施設で、薬物、アルコール、ギャンブルなどの依存症者、その家族、および薬物依存の問題を抱えるあらゆる関係者に対して、回復プログラムや相談を通じて包括的に回復や社会復帰のための支援をする事業や、広く一般を対象にした薬物依存症に関する啓発事業、また法務省や厚生労働省などの関係機関において依存症教育や講演活動などを行っている。

人口や都市の規模にかかわらず、兵庫県内には薬物やアルコール依存症の家族や関係者への支援の場所がほとんど存在しないことが同団体のそもそもの開設の動機

だが、そうした人々への支援を続けるなかで、最近ではギャンブル依存の問題を抱える家族からの相談が増えてきていた。そこで同団体では、2019年度、POSCの助成を活用して、パチンコ、パチスロ依存症者の生き方の再構築をサポートするための様々な活動にも取り組み始めた。

さらに2020年度、依存症当事者と同じくらいの数だけ、その家族や関係者、および支援者からの相談が多く寄せられていることから、相談支援業務と家族支援業務に力を入れて取り組むことを始め、また、神戸市だけではなく、同じ兵庫県内の尼崎市や姫路市での出張相談を継続的に行うことにした。そうした支援に加え、回復が進んだ依存症者が地域で就労するのに大きな困難を抱えている現状から、就労支援および就労の場所を作ることを目的に、神戸市JR三宮駅近くの神戸ソーシャルキッチンで沖縄タ

コスの出張販売を実施したほか、当事者支援の一環として、地域の人たちに頑張る姿を見てもらうために、日頃から取り組んでいる太鼓演奏(エイサー)の練習を公開した。

コロナで多くの家族会が閉鎖されるなか再開にこぎつけた「神戸ダルク家族会」

こうした活動などにPOSCの助成が役立てられているが、2020年度は特に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、行政機関の多くが停止するなか、どこにも相談することができずに困っている方のために、同団体では夜間も電話相談を継続して行ったこともあり、これまでの倍以上の相談が同団体に寄せられた。

また、家族会や家族の自助グループの多くも閉鎖されていたことから、同団体が行っている家族会が命の救いだと、多くの方々が参加した。この家族会は「神戸ダルク家族会」という名称で、2017年4月にスタートしたアットホームな居場所としての家族会だが、毎月第4日曜日の13時~16時に神戸市勤労会館で開催され、依存の問題を抱える家族、恋人、親族、関係者であれば誰でも参加できる。2020年

度は、コロナ禍の中で6月に再開されたが、その運営資金としてPOSCの助成が活用された。

「コロナ禍で様々な活動ができなくなったり、どうしているかわからなくなったりする不安もあった2020年度でしたが、当法人の活動が始まった頃から支援して下さる団体との精神的なつながりや支え合いの声掛けがあったことで、不安を取り除くことができました。また、太鼓の練習などは、かえって時間が多く取れたため、依存症者の体力維持やストレスの軽減に大いに役立ちました。依存の問題を抱える家族に直接支援することや、相談機関が停止していた時期の唯一の相談窓口として機能したことや、就労の場所作りなどは、POSCの助成があったおかげです」と、代表者は2020年度の活動について話していた。

兵庫県遊技業協同組合より

当事者だけでなくその家族など包括的に支援している活動に賛同させていただきました。今後も継続して依存問題に取り組んでいただきたいと思います。



タコス販売会には多くの人々が訪れた



太鼓の練習は依存症者の体力維持やストレスの軽減に役立った

助成団体:一般社団法人 神戸ダルクヴィレッジ

<http://www.kobedarc.org>



金銭的にも精神的にも支えられていることを強く感じています

2019年度、2020年度と続けて支援していただいたことで、金銭的な面はもちろん、精神的にも支えられていることを感じながら、安心して事業に取り組むことができています。また、冊子などを通じて、パチンコ業界の方々が依存症者への支援に対する理解を示してくださっていることを拝見し、熱い思いを持っています。

一般社団法人 神戸ダルクヴィレッジ
代表理事 梅田 靖規さん